

# あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

## 主な記事

- ①厚真町二十歳のつどい
- ②あつひやく／厚真未来カレッジ
- ③土器づくり／室内ソフトボール／部活動の地域移行
- ④就学援助のお知らせ／グローブの寄贈について／12月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

## 第2回厚真町二十歳のつどい開催



第2回厚真町二十歳のつどいが1月7日（日）に総合福祉センターで開催されました。今年度は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた34人が対象です。当日は、男性11人、女性18人の合計29人が参加し、人生の大きな節目を祝いました。式辞では、遠藤教育長から「自分自身で判断し、責任を全うする機会が増えていきます。そんなとき、家族や会社以外にも、広く多様な人とのつながりを基に、たくさんの人に頼り、関わりながら、困難なことに立ち向かっていく勇気を持ち、自分の人生を歩んでいってください。」と新成人の皆さんに激励の言葉が贈られました。

式典終了後に行ったアトラクションでは、小中学校時代の写真や恩師からのメッセージを織り交ぜた動画を上映。その後、来場されていた厚真中学校、厚南中学校両校の当時の担任の先生から、新成人の皆さんに向けて応援のメッセージが贈られました。

また、新成人の4人で立ち上げられた二十歳のつどい実行委員会には、式典の企画や運営に携わってもらいました。今回、記念品として贈られたキーケースは実行委員会で選定しました。ぜひ、日常生活の中で役立てていただければと思います。





# 100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト参加者大募集中！ みんなで考える「厚真の教育の未来」

先月号でも紹介しましたが、教育委員会では、昨年度から「100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト」(あつひやくミーティング)を実施しています。この取組は、厚真町で育つ子どもたちに、どんな学びや経験をしてほしいかを町民全体で考えていこうというものです。昨年度は計3回の実施で、延べ90人が参加し、厚真で育つ子どもたちへの思いや願いのほか、実現できそうな学びのアイデア出しなどを行いました。

今年度も、下記の日程で、実施します。内容の詳細については、ホームページや町内に掲示しているポスターをご確認ください。なお、参加を希望される方は、下記QRコードからの申し込みの他、下記問い合わせまで電話での連絡をお願いいたします。

※先月号で紹介したものと開催日程や場所を変更しています。ご理解とご了承をお願いいたします。

# あつひやくミーティング

## 〈あつひやくミーティング日程〉

### 【日時・場所】

- 第1回 令和6年1月30日(火) @総合福祉センター
- 第2回 令和6年2月27日(火) @総合福祉センター
- 第3回 令和6年3月26日(火) @総合福祉センター

【時間】18時30分～20時30分

【参加対象】中学生以上のどなたでも参加できます

詳細はこちら↓



申込フォーム



詳細について



昨年度の様子です。皆さんと一緒に厚真町の教育の未来について考えていきたいです。

## 世界で活躍する熱中人から学ぶ！ 第3回厚真未来カレッジ開催決定！

教育委員会では、今年度から「本物に出会う」をキーワードに、世界で活躍する多彩な講師を厚真町に招き、その人が人生をかけて追及してきた分野の面白さや、苦労、チャレンジのプロセスについて話を聞く「厚真未来カレッジ」の取組を進めています。

今回は、UCL(ロンドン大学)教授の紅林さんから、自身が研究している電子工学の世界について、イギリスからオンライン中継で講義をしていただきます。貴重な機会になりますので、ぜひお申し込みください！



申込フォーム



詳細について

主催：厚真町教育委員会  
厚真未来カレッジ

世界で活躍する熱中人から学ぶ  
厚真未来カレッジ開校！  
**アツカレ**

2024.2.24(土) 18:00～19:30  
会場：厚真町総合福祉センター  
特別講義の受講：年齢制限なし

特別講義  
「電子の世界に魅せられて  
～探求してきた学びで世界を変える～」

初代総務大臣の伊藤博文や夏目漱石も学んだというイギリスのUCL(ロンドン大学)で、世界で初めての「次世代型コンピューター」を生み出そうとしている日本人がいます。世界中の中でも電子の分野に熱中して研究を続けてきた紅林先生から、電子の世界に広がる不思議な魅力と現在進行形で取り組んでいる世界最先端の研究について伺います。

UCL(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)教授  
紅林 秀和 氏

群馬県出身。名古屋工業大学(工学)、東北大学(博士)を経て、2009年にケンブリッジ大物理学部にてPhD(博士号)を取得。2013年からUCLで電子によるスピンの物理的研究グループを主宰する。2023年には特別招聘。現在はその研究成果を応用してこれまでと全く違う「次世代型コンピューター」の開発と実現に取り組んでいる。

● 夢描き力  
● 探求・解決力  
● 試行錯誤・アップデート力

厚真未来カレッジは、2022年度から町民参加型で取り組んでいる「あつひやく」プロジェクトの中で出たアイデアを元にして企画されました。厚真で育つことにも誇り、ほしい100の力から、それぞれの学び場が伸ばしてあげられる能力を養っています。

QRコード以外での申し込み・問合せ先：厚真町教育委員会 社会教育グループ 電話：0145-27-2495

## 「土器づくり」のお知らせ

全国注目の軽舞特別収蔵庫も  
見学できます！

世界遺産として注目されている「縄文」の器、土器づくりを開催いたします。毎回大好評の土器づくり。縄目文様をつけた自分だけの土の器をつくってみませんか？

- ◆日時 令和6年2月18日（日）午前10時～正午
- ◆場所 軽舞遺跡調査整理事務所
- ◆定員 先着20名程度（年齢制限なし）  
※小学3年生以下は保護者同伴

◆参加費無料

◆申込・問合せ

締め切り：令和6年2月9日（金）午後5時まで

申 込：軽舞事務所 0145-28-2733

メール shakai@town.atsuma.lg.jp

- ◆その他 作成した土器は、9月に実施する野焼きで野性味ある色合いとなり完成となります。  
完成した後、皆さんにお渡しします。



昨年度の土器づくりの様子

## 【第27回】室内ソフトボール大会

冬季期間の町民の健康・体力づくりと町民同士のふれあいを目的として「第27回室内ソフトボール大会」を開催します。体を動かしてリフレッシュしてみませんか！皆さんのご参加お待ちしております。

- ◆と き 2月13日（火）～16日（金）  
開会式（初日のみ）午後6時から  
第1試合 午後6時30分開始  
第2試合 午後7時30分開始  
第3試合 午後8時30分開始
- ◆申込み 2月2日（金）午後5時まで  
各自治会や前大会出場チームに申込用紙を配付していますので記入の上、厚真町スポーツセンターへ提出してください。（先着12チーム）
- ◆と ころ あつまスタードーム
- ◆出場資格 町民又は町内の職場・学校に所属する方で中学生以上の方、チーム編成については自由となります。ただし、複数チームへの選手の二重登録はできません。
- ◆問 合 せ 厚真町スポーツセンター ☎27-3775

## 休日部活動の地域移行 ～令和7年度から部活動が変わる～

部活動の地域移行とは、少子化により部活動の維持が困難になる可能性があることや学校の働き方改革の一環として、休日の部活動を地域のスポーツクラブ等に移行する取り組みです。

厚真町教育委員会では、令和5年6月に「厚真町地域クラブ検討会議」を立ち上げ、小中学校やスポーツ少年団、文化団体等の代表の方を検討委員として委嘱し、休日部活動の地域移行の受け皿となる地域クラブの立ち上げについての検討を行ってきました。その結果、運動部活動及び文化部活動の両方を網羅した「厚真スタイルの地域クラブ」の立ち上げに向けた準備委員会の発足が決まりました。

しかし、各部活動の現状や地域指導者の受け皿となるスポーツ少年団からは、地域移行に向けた様々な課題が出され、解決しなければならないことが多くあることが分かりました。

これからの準備委員会の取り組みとしては、令和7年度の休日部活動の地域移行に向けた各部活動ごとの現状把握や合同練習会、小中学校の保護者説明会の開催を予定しています。

これらの取り組みの詳細につきましては、各学校や関係機関を通じて、ご案内をさせていただきますので、地域の方や保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。





# 就学援助(新入学用品費等)についてのお知らせ

教育委員会では、お子様の小学校・中学校就学にあたり、経済的に困りの世帯に対して、新入学用品及び学用品の購入に必要な経費の援助を入学前に行っています。

- 対象となる世帯 次の要件にすべて該当する世帯
  - ①お様が令和6年4月に厚真町内の小学校又は中学校に入学予定の世帯
  - ②申請時に厚真町に住民票のある世帯
  - ③経済的に困りの世帯

※新入学用品等の扶助を受けた後、町内の小・中学校に入学しなくなった場合や、前年(令和5年)の収入が決定した段階で基準を満たさない場合は、返還手続きが必要になります。
- 援助額(予定)
 

①小学生	
新入学用品費	54,060円
学用品費	11,630円
②中学生	
新入学用品費	63,000円
学用品費	22,730円
- 援助時期等 令和6年3月中旬  
(保護者の口座にお振込みします)
- 申込期限 令和6年2月9日(金)
- 必要書類
  - ①令和6年度要保護及び準保護児童生徒認定申請書(兼令和5年度新入学用品費等入学前扶助受給申請書)  
(町HPからダウンロード又は、教育委員会にも用紙があります)
  - ②前住所地における令和5年度(令和4年分)課税所得証明書  
※令和5年1月2日以降に厚真町に転入された方のみ
- その他 入学前に申請をしない場合でも、新年度に入り学校へ申請し認定となった場合は、7月頃に同額の新入学用品等の援助を受けられます。
- 申込・問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

## 12月定例教育委員会

12月21日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
 

令和5年度第3回厚南地区学校運営協議会／令和5年度第3回中央地区学校運営協議会／教育研究所第4回運営委員会／厚真町教育支援委員会／12月定例校長会議・教頭会議／生徒指導連絡会議／生徒指導事案について／英会話教室第2期／第2回、第3回二十歳のつどい実行委員会
- ◆議案
 

教育委員会事務局職員の懲戒等の処分について
- ◆協議
 

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について／総合教育委員会議の開催について
- ★問合せ
 

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

## 大谷翔平選手から野球用グローブ寄贈

大リーグで活躍する大谷翔平選手から厚真中央小学校と上厚真小学校へグローブが寄贈されました。1月17日の始業式後には、全校児童の前でグローブの披露をしました。

今回寄贈されたジュニア用グローブは1校につき右利き用2個、左利き用1個の計3個です。グローブには、大谷翔平選手のサインが印字されており、大谷翔平選手の写真とともに「野球しようぜ」という子どもたちに向けたメッセージが添えられていました。

- ★問合せ
 

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494



# 図書室だより

## 表現する言葉をたくさん知っておこう！

感動する体験をした時、友だちや周りの人にどういう風に伝えますか？友だち同士だから、普段使いの言葉で「すごい感動した」「やばかった」など伝えますね。

では、読書感想文や小論文で同じように感動した出来事を伝えようとした時、なんと書きますか？前後の文脈にもよりますが、「すごい感動しました」「やばいと思いました」では、伝えたいことが正しく伝わらない可能性がありますし、改まった場の言葉づかいとして少々ふさわしくないようにも思います。

表現する言葉を知るためにおすすめなのが、小説を読むことです。出版社には校閲・校正という作業をする人がいて、言葉づかいや事実が相違ないか、誤った表現になっていないかを調べて検討してくれます。小説を読む時間がない！という人には、図書室にある「品格語辞典」をおすすめします。文例も載っているので、小論文やビジネスメールにうってつけです。

品格語辞典 関根健一／監修 大修館書店

「やばい」の言い換え例

- ・やばい仕事 → 危ない仕事
- ・テストの点数がやばい → テストの点数がひどい
- ・演技力がやばい → 演技力が群を抜く
- ・やばい噂 → よからぬ噂

「このあいだ」の言い換え例

- ・この間ご相談した件 → 先日ご相談した件
- ・この間寄贈した本 → 過日寄贈した本

「感動」の言い換え例

- ・感慨 感無量 感銘
- ・感動した言葉 → 心に響く言葉

読み物としても楽しい本ですので、普段メールや手紙も出さないという方にもおすすめします。

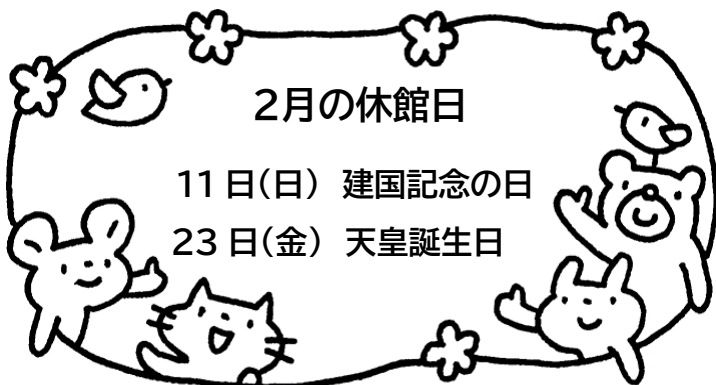
### 2023年 貸出回数ランキング

#### 《一般書》

- 1位 不思議カフェ NEKOMIMI 村山早紀／著
- 2位 折れない言葉2 五木寛之／著
- 3位 月の立つ林で 青山美智子／著 他2冊

#### 《児童書》

- 1位 コンガらがっちシリーズ
- 2位 パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち
- 3位 異種最強王図鑑 闇の王者決定戦



#### ■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)  
9時00分～19時00分(火・木)  
※祝日、年末年始は休館となります。

#### ■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)  
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は  
休館となります。

2月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、  
22日(木) 10時00分から10時30分まで  
場所：厚南子育て支援センター



# ☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

新しい1年が始まりましたが、年明けに飛び込んできた災害や事故のニュースに、心がぎゅっとしめつけられ、なんとも落ち着かない時間を過ごされた方も多かったことでしょう。2018年に北海道胆振東部地震を経験した私たちにとって、災害のニュースは決して他人事に思えません。避難を余儀なくされている方々、救援を待っている方々の気持ちを想像すると、自分たちが被災をしたあの日々のが思い出されます。どうか、一人でも多くの命が救われ、不自由な生活の中にほんのひとときでも、心身ともに安らげる時間が持てることを心から願うばかりです。

冬休み期間中、放課後子ども教室の通常教室はお休みとなっておりますが、年末を前に毎年恒例のしめ縄づくりプログラムと、冬休みの特別教室として、森遊び&モノづくりの活動を実施しました。農業の町である厚真町。学校での授業をはじめ、農作業や食育に触れる機会も多い厚真の子どもたちです。放課後子ども教室では、町内の農家さんから稲わらをわけていただき、お正月飾りのしめ縄づくりを、毎年、実施しています。美味しく食べているお米はもちろんのこと、しめ縄を手づくりすることで、稲作の副産物としてできる稲わらも余すところなく、生活の一部として活用されることを実感できる機会になればと考えています。

冬休みの特別教室では、冬の森遊びと木の枝を加工してハンガーをつくるプログラムを行いました。今年は豊丘にある豊かな丘公園にお邪魔し、木登りやロープでつくったブランコ遊び、お山の探検などを楽しみました。年末はなかなか雪が降り積もらず、雪遊びは難しいと思っていましたが、積雪3センチの斜面で子どもたちは上手にそりを乗りこなし、日陰で凍った氷の上で長靴スケートを始めます。子どもたちの遊びをつくり出す才能に触れた瞬間でした。普段はなかなかできない木登りにも果敢に挑戦。恐怖心と好奇心の両方を感じながら、自分の体の使い方を考えて登る姿がありました。場所を遺跡調査整理事務所（旧軽舞小学校）へ移し、お昼ご飯を食べて、午後からはモノづくりのプログラムです。裏山で材料を調達し、ノコギリや小刀、電動ドリルなどの工具を使い、木の枝でハンガーをつくりました。子どもたちが思い描くイメージに対し、技術が追いつかないところは、スタッフがサポートをしながらのモノづくりタイム。普段使いができる世界にひとつだけのオリジナルハンガーをお土産に、みんな笑顔で帰路につきました。お手伝いをいただいた皆さんに感謝です。後半、駆け足になってしまったところは反省点ですが、ゆったり、じっくり時間をかけて遊ぶことの大切さを改めて感じる1日となりました。

